



基幹システムをWeb化し、戦略的なIT基盤を構築する

Nexaweb Advance

「Nexaweb Advance」は、既存の基幹システムをWeb化し、短期間かつ低コストで、既存の基幹システムからリッチ・インターネット・アプリケーション (RIA: Rich Internet Application) を採用した戦略的なITシステムへのモダナイゼーションを実現するソリューションです。

基幹システムを早期にエンタープライズ Webアプリケーションに移行する重要性

多くの企業では、社内外を含めた業務プロセスの見える化、顧客サービスの向上などの経営課題の解決に加え、ITの運用コスト低減、ITシステムの操作性向上が課題となってきました。加えて、保守・運用コスト面で優位なWebベースのITシステムへの移行が待ち望まれながらも、なかなか取り組めないのが現実でした。

パフォーマンスの低いレガシー・アプリケーションを使用する平均的な企業では、そのIT予算の60～85%が、競争力を生み出せないアプリケーションの保守に費やされているといわれています。また、ガートナーは「2010年末には、技術やスキルの陳腐化に対応する必要に迫られて実施されるアプリケーションプロジェクトが全体の3分の1以上を占めるだろう」と予測しています。すなわち、競争力のある機動性や柔軟性を確保してビジネスニーズとITの性能とのギャップを埋めるためには、レガシー・アプリケーションをエンタープライズWebアプリケーションへと移行せざるを得ません。

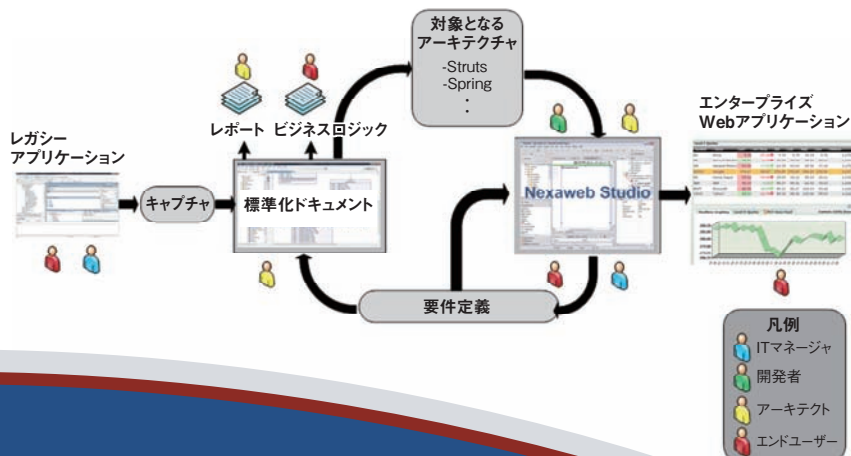
Nexawebは、金融、テレコム、製造、ライフサイエンスなど、さまざまな業界における豊富な経験に基づき、リスク、所要時間、およびコストを抑えながら、レガシー・アプリケーションをエンタープライズWebアプリケーションへと変換するためのモダナイズ・ソリューションとして「Nexaweb Advance」を提供します。

Nexaweb Advanceとは

「Nexaweb Advance」は、JavaベースのオープンなWeb環境の上で、短期間かつ低コストで、いままで変更を保留してきたレガシー・アプリケーションから戦略的なITシステムへの移行を実現します。単純なツールを用いた自動生成移行と異なり、特定の仕様で限定されることがないため、多種多様

■モダナイズ・プロセスモデル

既存のレガシー・アプリケーションのプログラムコードを可視化し、オープンな言語に改修することで、柔軟性と俊敏性を兼ね備えた疎結合型のアーキテクチャを構築。機能追加やパフォーマンス、保守性の向上だけでなく、システムライフサイクルの管理プロセスなど、IT全体の進化を享受できます。



な既存の技術やシステムとの連携にも柔軟に対応するとともに、進化を続ける業務プロセスを加味しながら、システム移行の成果の精度と品質を高めることができます。

Nexaweb Advanceは、COBOLやVisual Basic等で開発した基幹システムを、クライアント/サーバを超える機能と品質を備えたエンタープライズWebアプリケーションに移行させることができます。Nexawebの自動化されたキャプチャ・プロセスでは、ドキュメントが残っていない状況でも、ソースコードからアプリケーション構造を理解するためのドキュメントを自動生成するとともに、UMLモデルも生成します。これによって既存システムの知識・スキルが既に存在しない場合でもプロジェクトのリスクを大幅に軽減するとともに、コードやアーキテクチャの欠陥を事前に除去・改善 (リファクタ) できます。

モダナイゼーションは、いままで変更を保留してきたレガシー・アプリケーションをRIAを採用した戦略的なITシステムに向けて機能強化する最適な機会です。Nexaweb Advanceを活用することで、企業はレガシー・アプリケーションの機能を、短期間かつ低コストで、エンタープライズ・リッチクライアントWebアプリケーションに改善および再構成します。

モダナイゼーションの効果

Nexaweb AdvanceによってモダナイズされたITシステムは、レガシーシステムのオープン化に踏みとどまらず、次のような新しい価値を生み出します。

- レガシーと比較した運用・保守コストの大幅な削減
- 経営、現場の意思決定の迅速化
- 複数業務をシームレスに連携することによる業務の効率化とスピード向上
- 他システムとの連携による情報共有
- 円滑なコミュニケーション
- 社内および取引先・顧客のシステム利用満足度の向上

Nexaweb Advanceの構成

「Nexaweb Advance」は、以下の要素で構成されます。

●エンタープライズ・リッチクライアント

Webプラットフォーム「Nexaweb Platform」

JavaとXMLのオープンテクノロジーを基盤に、UI画面・機能の「リッチクライアント」化とリアルタイム（プッシュ配信）/非同期通信管理を同時に実現する基幹システム向けRIA統合開発・運用環境。

●柔軟なRIA開発基盤フレームワーク

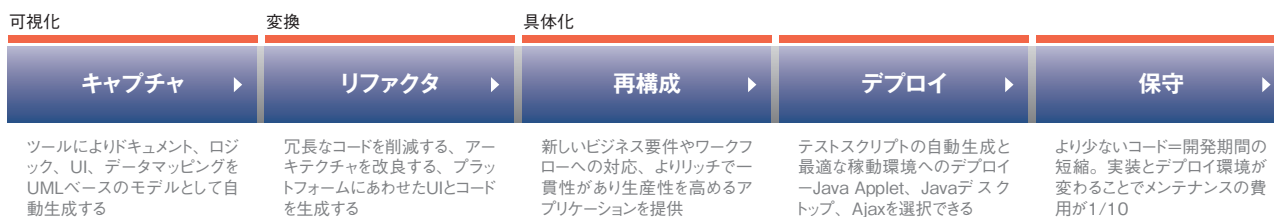
「Reference Framework」

アプリケーションの開発生産性と品質向上を意識し、既存システムとデータ連携にも柔軟に対応する包括的なRIA開発フレームワーク。

●レガシー・アプリケーションの最適な変換プロセス

「Transformation Process」

業務プロセスの変更を加味しながら、既存のレガシー・アプリケーションからRIAを採用したWebシステムへの移行を実現する、従来の単純なマイグレーションとは異なる変換プロセス。この変換プロセスは、右の5つのステップより成り立ちます。



レガシー（技術と融合したモダナイズ・プロセスモデル） ▶ Enterprise Web 2.0

Nexaweb Advanceの導入メリット

Nexaweb Advanceでレガシーからモダナイズ（近代化）されたアプリケーションは、ミッションクリティカルに対応したエンタープライズ品質のアプリケーションを実現するとともに、Enterprise Web 2.0の特長を備えます。ビジネスの成長を支えるスケラビリティ、俊敏性を実現するSOA、アプリケーションに新しい価値をもたらすリッチエクスペリエンスを備えたアプリケーションを、多様なクライアント形態（Java Applet、Javaデスクトップ、Ajax）にゼロインストールで展開できます。加えて、Nexaweb Studioによる視覚的な開発スタイル、繰り返し型の開発プロセスが、ユーザー視点に立った理想的なアプリケーションへと導きます。

Nexaweb Advanceは、次のようなメリットをもたらします。

- ・効率的で正確なレガシーアーキテクチャの捕捉
- ・既存資産、ビジネス・ロジック、およびデータベースの再利用
- ・クライアント層のコンポーネントの再利用
- ・オープンスタンダード/オープンソーステクノロジーのメリットを享受
- ・一つのコードベースで、Java Applet、Javaデスクトップ、Ajax等のさまざまなクライアントを提供可能
- ・低リスク、短期開発による開発コストの低減



日本ネクサウェブ株式会社

〒104-0045

東京都中央区築地4-1-12 ビューロー銀座7F

TEL: 03-3541-5061

FAX: 03-3541-6457

Mail: info@nexaweb.co.jp

www.nexaweb.co.jp

【Nexaweb Advanceに関するお問い合わせ】
パートナー各社に直接お問い合わせください。